世間を「内部から」 清め、社会を神の手 に取り戻す

1. 「神の霊によって導かれる者は皆、神の子なのです」(ローマ8.14)。この聖パウロの言葉を聞いたばかりです。この言葉は、今日のホセマリア・エスクリバーデ・バラティンがあらせてくれます。聖エスクリバーは、素直な心で神の霊導さに従いました。このようにしてのみをやり遂げることがです。と確信していたのです。

このキリスト教の根本的な真理は、 彼の説教の変わらぬテーマでした。 実際、霊的子供たちに、内的生活を するためにいつも聖霊により頼むこ とを勧めていました。神との付き合 いは、家庭生活、仕事、社会生活、 つまり小さなことの連続である実生 活と切り離せません。それらは、神 がおられる聖なる唯一の生活を形作っています。「最も身近な物的なもの中に、目に見えない神を見つける」(『ホセマリア・エスクリバーとの会見』114番)のです。

この教えは、現代にピッタリ当ては まる緊急の課題です。洗礼によって キリストに結び付けられた信者は、 神とのたゆまない生き生きとした関 係を築き、人類救済に協力するよう に呼ばれています。

2. 「主なる神は人を連れて来て、エデンの園に住まわせ、人がそれを耕し、守るようにされた」(創世記2.15)。この第一朗読で読まれた創世記は、人類が神からこの世界を委ねられ、われわれがそれを「耕し」「世話する」ことを思い出させます。この世界の様々な現実の中では動する信者は、この神の普遍的なまり、恵みの助けを受けて、仕事やまたのは、まないのは、まないのは、まないのは、まないである。

毎日のあらゆる活動を贖いの手段に 変えるのです。

「神を信じる者の日常生活とは、働 くときも休むときも、祈るときも眠 るときも、何をしていても常に神が 現存しているのです」と、聖ホセマ リア・エスクリバーは、よく話しま した(1954年3月3日の説教)。見た ところでは単調な繰り返しに過ぎな いような出来事でさえ、神が私たち に近づき、私たちは救いの業に協力 することができるのです。この教え は、人生に超自然的なビジョンを与 え、豊かな展望を切り開きました。 また、第二バチカン公会議が断言し た次の点がいっそう分かりやすくな ります。「キリスト教のメッセージ は、世界の建設から人々の手を引か せるのではなく、(・・・) むしろ、こ れらを実行するように強く義務付け るものである」(現代世界憲章34 番)。

前に輝かしなさい。 人々が、あなた方の立派な行いを見て、あなた方の天の父をあがめるように」(マタイ5.16参照) なります。

4. 福音に奉仕し忠実であろうとする 人々は、確かに無理解と困難を経験 するでしょう。神は、ご自分に従う ように呼んだ者を、十字架の神秘の 力によって浄化しふさわしい者につ くりあげます。聖エスクリバーは、 「十字架、そこで光、平和、喜びに 出会います」Lux in Cruce, requies in Cruce, gaudium in Cruce! と繰り 返しました。

1931年8月7日、ミサをたてているとき、彼の魂の中に「私は、地上から上げられるとき、すべて人を自分のもとへ引き寄せよう」(ヨハネ12.32)というイエス様の言葉が響き渡りました。その時、聖エスクリバーは、人間のあらゆる活動の頂点にキリストの十字架を高く掲げると

いうキリスト者の使命をいっそう はっきりと悟り、すべての社会分野 を福音化したいという熱情が心にこ み上げてくるのでした。以来、先ほ ど聖ペトロ広場にこだました、イエ ス様が聖ペトロに呼びかけた言葉 「沖へ漕ぎ出せ」を躊躇せず実行に 移しました。彼は、あらゆる人々に それを伝え、それらは、教会に使徒 的奉仕と共通の宝を提供することに なりました。今日、この呼びかけは 私たち全員にまで届きました。「沖 に漕ぎ出して網を下ろし、漁をしな さい | (ルカ5.4)という、主の呼びか

5. このような骨の折れる困難な使命を果たすためには、祈りによって養われた内的生活を必要とします。聖エスクリバーは、祈り方を教える偉大な師でした。社会を神の手に取り戻すため、祈りは非常に強力な「武器」であると考えました。だから、常に人々に「第一に祈り、次に償

けが聞こえたでしょう。

い、三番目、実に三番目に活動がくる」(『道』82番)と勧めました。 それは逆説ではなく、いつもあては まる真実です。使徒職の豊かな実り は、とりわけ祈りと深く絶え間ない 秘跡の生活からもたらされます。こ れが聖性の秘密であり、聖人たちの 真の成功の秘訣です。

神は、みなさんがこの修徳と宣教という厳しい使命を受け継ぐことを助けてくださるでしょう。聖母マリアも支えてくださいます。聖なる創立者は聖母に「私たちの希望、上智の座、主の婢」Spes nostra、Sedes Sapientiae、Ancilla Domini!と呼びかけていました。

聖母マリアよ、私たち一人一人が福音の本物の証人となり、キリストの 王国を建設するために大きな心であらゆる分野で貢献できますように。 また、聖エスクリバーの模範と教え に倣い、この地上での生活を終えた とき、天国の幸福を受けることができますように。そこで天使たち、聖人たちと共に神のみ顔を見つめ、永遠に神の栄光を歌うでしょう。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/shi-jian-wo-nei-bu-kara-qing-me-she-hui-woshen-noshou-niqu-rili-su/(2025/12/13)